



リモート授業における簿記教授法の研究

商学部
経営・流通学科
教授

金川 一夫



研究シーズの紹介

本研究の背景について、簿記の学修者が理解を困難にする個所や勘定科目といった教授内容の側面は解明されてきている。そして、初学者と経験者との混合したクラスの問題といった授業環境の側面についても問題提起されてきている。しかしながら、教授法については明示されずに今後の課題とされ

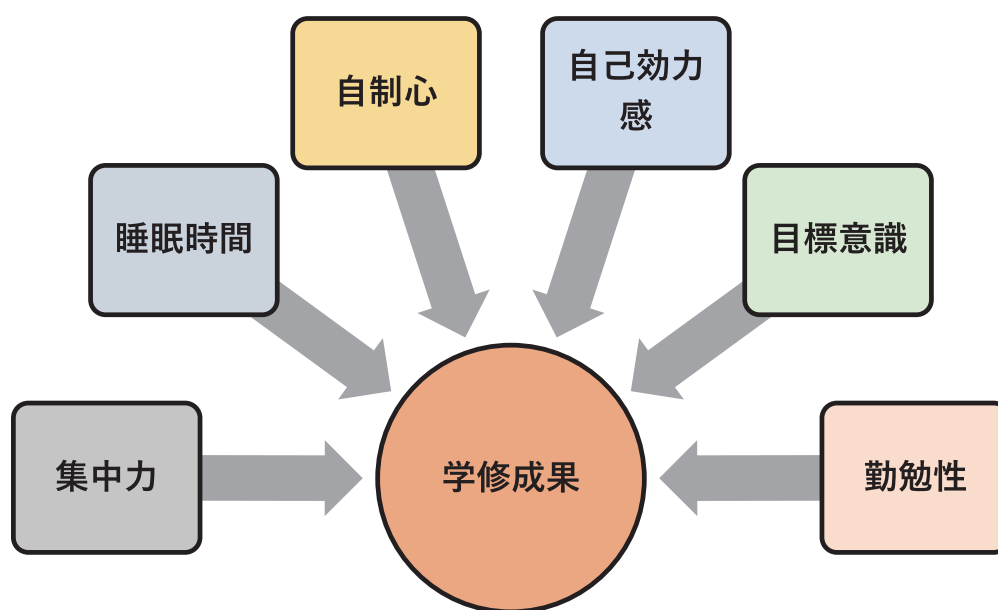
ることが多かった。

我々のこれまでの研究結果から、学修成果を目的変数としたときに6つの説明変数が妥当であると考えられる。因果関係の概念モデルは、リモート授業に対しても適応できるかということがここでの問いである。



リモートの簿記教育

- リモート授業において、学修者が簿記の理解を困難にしている原因を明らかにするための研究である。



期待される活用シーン

- リモート授業に対する簿記の教育方法



リモートにより授業を行う場合に、簿記の理解を困難にしている原因を究明する

その他の研究テーマ

- ① 自己効力感を高める簿記教育の提案
- ② 習熟度別クラス編成に関する研究